

はじめに

1980年度の春期実習発掘調査の対象候補遺跡を探索中、高野啓一・島津義昭両氏から耳よりな話が届いた。町史編纂中の松島町で、古墳時代についての資料蒐集の必要性が委員たちの意識にのぼりはじめている、というのである。直接間接にその仕事に携わっている両氏と花岡興輝氏を通じて話をすすめて貰い、調査について町の協力を得る見通しが立った。

これまでの春季実習調査は阿蘇山麓で行なわれ、ともすればその内容が規模の小さな実習調査に合いにくく、且つ実習生にとっていささか難解であることが多かった。しかし「古墳」ということになればその成果と作業内容の展開はより正確に予見することができるし、集落の極小部分を解剖して腕を組むのに比べると、結果の理解も容易である。宮本千絵・西住欣一郎両君も張り切って対象古墳の選定に取りかかり、カミノハナ古墳群を二期に分けて調査することにした。勿論、今回がその第一回である。

この調査を実施するにつき、上記三氏の他、松島町教育長日高光一氏、教育委員会の大澤健二・鬼塚隆美の両氏をはじめ多くの方々のお世話に与った。古墳群の地主である高島一義・水野昌義両氏も所有地への立ち入りを快くお許し下さった。お礼を申しあげたい。

今回の調査は宮本千絵君が実務を総括した。この報告書の編輯も彼女の担当に依るものである。なお他に紙面が無いと言うので、参加者の名を下に掲げておく。報文の執筆者は例によって各文末の括弧の中に示した。

調査参加者 白木原和美 甲元真之 中村愿 西住欣一郎 宮本千絵
山口俊博 鳥越のり子 永目尚子 古城史雄 米倉秀紀
古荘千栄子 井上靖司 入江久成 坂田和弘 西谷大
平井利枝 武内由紀子 松田まゆみ 渡辺千恵 吉武学

1981年10月20日

白木原和美

本文目次

| | |
|------------|---|
| 一 遺跡の位置と環境 | 1 |
| 二 調査の目的と経過 | 3 |
| 三 調査の概要 | 4 |
| 四 まとめ | 8 |

挿図目次

| | | |
|-----|---------------|-------|
| 第1図 | カミノハナ古墳群位置図 | 2 |
| 第2図 | 5号墳丘測量図 | 7 |
| 第3図 | カミノハナ古墳群地形測量図 | 折り込み1 |
| 第4図 | 5号石室実測図 | 折り込み2 |

図版目次

| | | |
|-----|---------------|----------------|
| 図版1 | 上：カミノハナ古墳群遠景 | 下：カミノハナ古墳群近景 |
| 2 | 上：1号墳丘 | 下：2号墳丘 |
| 3 | 上：3号墳丘 | 下：4号墳丘 |
| 4 | 上：5号墳丘 | 下：6号墳丘 |
| 5 | 上：7号墳丘 | 下：8号墳丘 |
| 6 | 上：2号石室清掃前 | 下：2号石室 |
| 7 | 上：3号石室清掃前 | 下：3号石室 |
| 8 | 上：4号石室清掃前 | 下：4号石室 |
| 9 | 上：5号石室清掃前 | 下：5号石室 |
| 10 | 上：3号石室内玉類出土状況 | 下：3号石室内甲冑片出土状況 |